

vol. 62

バレエ・リュスを彩った ダンサーの肖像 1

展示期間 / 2017年6月15日(木)〜7月23日(日)

構成 / 森瑠依子

展示 / 関典子(薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

1909年から20年にわたり、世界を魅了したディアギレフのバレエ・リュス。この団体には常に、当時の最高のスターダンサーが在籍していた。薄井コレクションには舞台衣装をつけてスタジオで撮影された彼らの貴重な写真と絵葉書が多数収蔵されている。今回はその中から、初期バレエ・リュスの代表的なスターたちの肖像をご紹介します。

<タマラ・カルサーヴィナ 1885-1978>

バレエ・リュスで最も活躍し、常に高い人気を誇ったバレリーナ。優美で芸術性に優れ、知性にも富み、ディアギレフが誰よりも信頼する女性舞踊手だった。ペテルブルグの帝室舞踊学校から帝室マリンスキー劇場バレエに入団、バレエ・リュスには1909年の旗揚げ公演で大成功を収めた後、解散の年まで多くの公演に参加した。代表的なレパートリーは『火の鳥』『タマール』『カルナヴァル』『ペトルーシュカ』『薔薇の精』『三角帽子』など。バレエ・リュス解散後は親しかったマリー・ランベールのバレエ団に客演し、1931年に引退。その後はロイヤル・アカデミー・オブ・ダンシングの副総裁を務めたり、英国ロイヤル・バレエでバレエ・リュスのレパートリーの再演に協力したりと、1918年に移り住んだイギリスのバレエの発展に貢献した。



<アンナ・パヴロワ 1881-1931>

世界中で最も有名なバレリーナといってよいだろう。ペテルブルグ帝室舞踊学校時代から注目され、マリンスキー劇場バレエでも入団直後から華々しい活躍を見せた。1908年より外国で踊り、バレエ・リュスでは1909年にパリで『レ・シルフィード』『クレオパトラ』、1911年にロンドンでニジンスキーと『ジゼル』『アルミードの館』『カルナヴァル』などを踊っている。1910年代に自らのバレエ団で全米巡業を始め、さらに中南米、ヨーロッパ、日本を含む東アジア(1922年)、南アフリカ、エジプト、



インド、オセアニアとくまなく回り、1931年にオランダのハーグで肺炎のために亡くなるまで、バレエを世界各地の人々に伝えるために生涯を捧げた。叙情性、感情表現に優れた比類ないバレリーナで、プティパのお気に入りでもあった。代表作には彼女の代名詞と言える『瀕死の白鳥』、『ジゼル』、小品の『とんぼ』『ガヴォット』などがある。

<マチルダ・クシェシンスカヤ 1872-1971>

ロシア人で初めて32回のフェッテに成功した技巧派で、ドラマティックな役柄に秀でたバレリーナ。ロシア皇帝ニコライ2世の皇太子時代の愛人であり、マリンスキー劇場で権勢をふるった。ディアギレフが19世紀の古典の主役には彼女がぴったりと考えたため、1911〜12年にバレエ・リュスでニジンスキーと『白鳥の湖』、『眠れる森の美女』の青い鳥のパ・ド・ドゥ、『カルナヴァル』『薔薇の精』を踊ったが、新しい芸術を求めていたバレエ・リュスのファンには彼女の踊りは時代遅れに感じられ、評判はよくなかった。1920年に亡命してフランスに定住した後は、生活を支えるためにパリにスタジオを開いてタチアナ・リアブシンスカ、アンドレ・エグレフスキー、イヴェット・ショーヴィレ、マーゴ・フォンテインらを育てた。彼女の自伝ではロシアの皇室とダンサーたちの親密さや、当時の華やかな社交生活、ロシア革命によって訪れた恐怖の日々と亡命の様子を知ることができる。



<イーダ・ルビンシテイン 1883-1960>

ダンサーとしての能力は限られていたが、プロデューサー、さらに芸術家たちのミューズとして20世紀の芸術に大きな貢献を果たした、カリスマ性に満ちた資産家。フォーキンに師事し、バレエ・リュスでは1909年に『クレオパトラ』、1910年に『シェエラザード』のタイトルロールを演じて、エキゾチックな抜群の存在感で人気を集めた。様々な舞台をプロデュースし、『聖セバスチアンの殉教』(1911年)、『火刑台上のジャンヌ・ダルク』(1938年)などを上演。1920年代後半に結成した自身のバレエ団では、ニジンスカの振付、ブノワの美術で『妖精の接吻』(ストラヴィンスキー作曲)、『ラ・ヴァルス』『ボレロ』(ともにラヴェル作曲)、クルト・ヨース振付の『ペルセフォネ』(ストラヴィンスキー作曲)などを発表した。



Chacott Web Magazine【DANCE CUBE】連載中
「薄井憲二バレエ・コレクションの逸品を訪ねて」
(text 森瑠依子)



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用